

「HPV(子宮頸がん)ワクチン被害を考える」 被害者と共に考えましょう!

「子宮頸がん予防ワクチン」とのふれこみで接種されたHPVワクチンによって、全身の疼痛、知覚障害、運動障害、記憶障害等の深刻な副作用被害が発生し、世界で多くの被害者が今もなお苦しんでいます。被害者本人と共にHPVワクチン被害を考える学習会を開きます。

日時：5月20日（日）午後2時～4時

内容：被害者からの声・被害状況・被害者との交流



私達はたった一本のワクチンで人生が変わってしまいました。あの日、薦められたワクチンを打たなければ、今もごく普通の生活を送って来たことでしょう。奪われた時間は、泣き叫んでも取り戻す事も出来ません。私達は普通に過ごせる毎日を取り戻したい。明るい未来を信じたい。そのために、原因究明と治療法を望んでいます。その願いを叶えるために皆さんのご支援が私達には必要不可欠です。どうか私達被害者の心の叫びをご理解いただき、ご支援をお願い致します。

**会場：やまなしプラザ・オープンスクエア
(TEL:050-5846-2962)**

山梨県甲府市丸の内1丁目6-1
JR甲府駅南口から平和通りを南に進み徒歩7分

参加費：無料



主催：全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会 山梨支部
共催：HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク
担当：江川
携帯電話 090-3682-1767
